

- 問1 サウジアラビアなどの西アジア諸国で広く信仰されている宗教について、唯一神アッラーを信じ、聖地メッカへの礼拝や断食、豚肉を口にしないといった厳しい戒律を持つ宗教の名称を答えなさい。（2016年 香川県公立入試 類似）
- キリスト教
 - イスラム教
 - ヒンドゥー教
 - 仏教
- 問2 赤道直下に位置するマナオスの気温と降水の特徴について、その背景や仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 寒流が流れる沿岸部に位置するため、気温は一年中一定に保たれるが、空気中の水蒸気が凝結せず雨はほとんど降らない。
 - 一年中太陽が真上付近を通るため、季節による日照時間の差が小さく、常に気温が高い状態で安定している。
 - 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、夏は海からの湿った風により降水量が多くなり、冬は乾燥する。
 - 南半球の中緯度に位置するため、日本とは季節が逆になり、1月前後に気温が最も高く降水量も最大となる。
- 問3 酸性雨による被害は、原因となる物質を排出した国とは別の国で発生することが少なくありません。このように、一国のみの対策では解決が困難な国際的な問題となっているのはなぜですか。その理由として適切なものを選びなさい。（2016年 静岡県公立入試 類似）
- 高度経済成長期の日本において、公害病を防ぐための法整備が遅れたから
 - 発展途上国における人口急増により、薪炭材としての森林伐採が止まらないから
 - 原因となる大気汚染物質が、偏西風などの風に乗って国境を越えて運ばれるから
 - 原因物質が海流に乗って運ばれ、世界各地の沿岸部に漂着して被害を出すから
- 問4 中国とインドの人口構成を比較した際、中国では1990年頃から65歳以上の人口割合がインドを上回るペースで上昇し続けています。中国において、このような人口構成の変化がインドよりも顕著に、かつ急速に進んでいる背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
- 経済発展に伴って若年層が国外へ大量に流出し、国内の高齢者の比率が相対的に高まったため
 - 一人っ子政策による出生率の抑制と、医療の発展による平均寿命の伸びが同時に進んだため
 - 広大な国土を管理するために、都市部から農村部への大規模な人口移動が強制的に行われたため
 - インドに比べて乳児死亡率が非常に高く、次の世代を担う年少人口の割合が極端に低いため
- 問5 1990年から2013年にかけての世界の二酸化炭素排出量の変化について、1990年の排出総量が206億トン（日本の割合5.1%）であったのに対し、2013年には排出総量が322億トン（日本の割合4.8%）に増加したという統計があります。この数値から読み取れる日本の二酸化炭素排出の実態について、正しい記述を選択してください。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
- 排出割合が5.1%から4.8%に低下しているため、省エネ技術の普及によって日本国内の実際の排出量も1990年時点より減少している。
 - 世界の排出総量が大幅に増加したため、日本の排出割合がわずかに低下していても、実際の排出量そのものは1990年時点よりも増加している。
 - 日本の排出割合の低下は、アメリカ合衆国や中国などの排出総量が減少したことで、相対的に日本の割合が下がったことを示している。
 - 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑える国際的な取り組みにより、世界全体の排出総量は1990年を下回る水準まで改善された。
- 問6 世界の「食料廃棄」と「食料不足」の不均衡な現状を背景に、持続可能な社会を実現するための取り組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- 食料不足を解消するために、先進国での食料廃棄量を意図的に増やし、市場に出回る食料の価格をさらに下げる。
 - 途上国の食料不足は人口爆発のみが原因であるため、食料の分配問題よりも人口抑制政策を最優先事項として取り扱う。
 - 生産された食料の約3分の1が無駄になっている現状を改善するため、効率的な流通システムの構築や消費行動の変革を推進する。
 - 食料生産量を現在の2倍に増やすことで、たとえ3分の1が廃棄されたとしても全員に行き渡るような過剰供給体制を整える。
- 問7 世界各地の気候と衣服の関係について述べた文のうち、南アメリカ大陸西部の高山地域で見られる生活様式の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）
- 高温多湿な環境に適応するため、樹皮や草の繊維を編み込んだ風通しの良い衣服を用いる。
 - 強い日差しから肌を守り、風通しを良くするために、体全体を覆う薄い綿布を用いる。
 - 標高が高い環境で飼育されているアルパカなどの毛を利用した毛織物を用いる。
 - 高緯度の寒冷な気候において、狩猟で得たアザラシやトナカイの皮を用いた毛皮を用いる。
- 問8 北半球の夏季にあたる6月から9月にかけて気温が上昇する一方で、同時期の降水量が極端に少なくなり、夏に高温乾燥となる特徴を持つ気候を何といいますか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
- 温暖湿潤気候
 - 地中海性気候
 - 西岸海洋性気候
 - 熱帯雨林気候
- 問9 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
- 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため
 - 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。
 - バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。
 - 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。
- 問10 北半球にある都市の統計において、7月の平均気温が約25度と年間で最も高くなる一方で、6月から8月にかけての降水量が極めて少なく、10月から1月にかけて降水量が多くなる「V字型」の降水パターンを示す温帯の気候区分を何といいますか。（2026年 三重県公立入試 類似）
- 温暖多雨気候
 - 温暖湿潤気候
 - 地中海性気候
 - 西岸海洋性気候
- 問11 南アフリカ共和国のケープタウンにおける、1年間の気温と降水量の特徴について説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。なお、ケープタウンでは、1月の平均気温が約21度と最も高く、7月の平均気温が約12度と最も低くなる「谷型」の気温変化を示し、雨は気温が低くなる5月から8月にかけて多く降ります。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 北半球に位置しており、夏季に気温が上がらず、一年を通して降水量が極めて少ないツンドラ気候に属している。
 - 南半球に位置しており、夏季にあたる時期に乾燥し、冬季に降水量が多くなる地中海性気候に属している。
 - 北半球に位置しており、夏季にあたる時期に降水量が多く、冬季に乾燥する温帯モンスーン気候に属している。
 - 南半球に位置しており、偏西風の影響を一年中受けるため、季節を問わず降水量が一定である西岸海洋性気候に属している。
- 問12 世界の農産物生産に関する統計資料において、生産量の割合が高い国としてロシアやカナダが含まれる農作物を、次のうちから選びなさい。なお、比較対象となる別の資料では、インドネシアやベトナムといった熱帯の国々の生産割合が高くなっています。（2022年 高知県公立入試 類似）
- トウモロコシ
 - 稲
 - サトウキビ
 - 小麦